

岐阜市議会議員選挙 ↓ 平成31年4月21日(日)

配布
大洞4-59
東山4-53
北山38-353
北山5-92
桜台23-310
桜市40-195
5棟2-17
柏台31-313
柏市26-159
桐丘23-182
桐市6-30
紅葉21-251
紅市16-83
桜1-17
合計237-2114

☆ 中将姫請願校観桜会 ↓ 4月7日(日) 11時00分 願成寺

☆ 道三まつり ↓ 4月6日(土) ~ 7日(日) 10時00分

挨拶 自分的一步から始める仲間づくり

—芥見東自治会連合会会長・山田 正行

平成31年度が始まりました、本年度もよろしくお願いたします。

岐阜市の「まちづくり協議会」は50の自治会連合会の40地区に出来ました。なぜまちづくり協議会が必要かといひますと、自治会連合会の組織だけでは解決できない課題が多くなってきたからです。当地区の課題は少子高齢化、これは高度成長期に造成された日本の団地が抱えている共通の課題です。



では、この地区はどうすればいいのか？ 次のような文章を見つけました「自分は孤独で友達が一人もいないと思っている人は、老いるに従って増えて行くのではないだろうか。私自身も友達といえる親しい間柄の友達は少ないに等しい。長い付き合いが無いと親しい間柄を築けないからだ。でも、世の中は不思議である。友達といわず、一緒に時間を共にする仲間であれば直ぐに作る事が出来る。待っていては作れない。自発的に自分が好む同好会、趣味のクラブ、勉強会、交流会に顔を出して居心地の良いグループを見つける事だ。時間と忍耐が求められるが可能である。今興味を持っている事を追求して行く先に仲間がいる！」。

本年度も色々な催しを開催します、皆さんの参加をお待ちしています。 □■

表彰 地域の自治会の方々に感謝！

—岐阜清流高等特別支援学校高等部主事

廣瀬 雅行さん

この度、コミュニティ・スクール制度を活用した当校が「地域や社会に貢献できる生徒の育成」を目標に推進している学校づくりの活動が認められ、県教育長から表彰されました。



この表彰は、地域の自治会の方々の協力なしでは受けることができなかったことと考えます。改めて御礼申し上げます。今後も当校の教育にご理解とご協力をよろしくお願いたします。 □■

スポ少 スポーツを通じ子どもが成長

—芥見東スポーツ少年団・那須 好恵さん

娘が友達から「一緒にバレーをやらう！」と誘われたのは、小学校3年生の時。娘は、どちらかというと外で元気に遊ぶタイプではなく、家で本を読んだり絵をかいいたりするインドア派。「お母さん、バレーがやりたい！」と娘に言われ、出来るのかどうか、とても不安だったことを今でも覚えています。



バレー(スポーツ)を通して、足が速くなった、「こうやってみよう」など仲間と話し合う行動ができるようになった。仲間を思いやる姿、「ありがとう」と感謝する心、試合に勝つために努力する姿勢などが育ったと思います。コーチ陣のわかりやすく、愛情ある指導のお陰で、娘もここまでできるようになったと感謝しております。念願の県大会出場も果たせました！

学校では教えてもらえないことを、スポーツ(スポ少)を通してたくさん学ぶことが出来ます。スポーツを考えてみえる方はぜひ！私たちと一緒にやりましょう♪□■

まち協 ~無料低額診療制度を実施~

—みどり病院事務長・大橋 正和さん

近年「貧困と格差」に関する報道が増え、当地域でも見過ごすことのできない課題となってきています。みどり病院・すこやか診療所では『無料低額診療制度』を実施しています。

- 保険証がない、あるいは国民健康保険の短期保険証や資格証明書が発行されている
- 失業や病気、障害などで一時的に収入がなくなった
- 医療費の支払いで生活に困難を生じている

これらの理由により受診を控えている方は、ぜひ一度ご相談下さい。状況が改善するまでの一時的な措置ですが、医療費の自己負担分または一部負担金の減額や免除をいたします。

当院は、夜間無医地区だった大洞地域に医療機関が欲しい、という地域の方々の強い要望と、出資や運動・ご協力により「みどり診療所」として1978年に開所しました。昨年は開設40年という節目の年でした。毎秋に開催している健康まつりでも多くの皆様にご来場いただいております、感謝申し上げます。 □■

共同研究  **子どもと地域との協働** 

ー東京大学社会教育学研究室・丹田 桂太さん
芥見地域のみなさま、こんにちは。東京大学牧野研究室の大野・鈴木・丹田と申します。私たちは、一昨年より岐阜市教育委員会との共同研究で、芥見東小学校内に設置された「ハートルーム」を中心に、学校(子ども)と地域が協働して行うさまざまな取り組みに関わらせていただいています。昨年からは「ハートルーム」に地域の方が気軽に訪れやすいような状態をつくろうと、この地域に数日間「常駐」させていただいています。

つい先日(2月25~27日)でこの取り組みも4度目となりました。だんだんと地域のみなさんに顔を覚えていただき、また「次はいつ来るの?」と声掛けをしてもらえるようになり、とても嬉しく思っています。先日の「常駐」中には、3回目となる給食交流会が実施され、30名近くの方にご参加いただきました。交流会後は、卒業式を間近に控えた6年生から合唱のプレゼントがあったり、プール東側にできた畑(フルーツランド)で子どもたちとジャガイモを植え、みなさんがとても楽しそうにされていたのが印象的でした。



4月以降も私たちは定期的に芥見東を訪れ、こうした活動をもっと広げていきたいと思っています。給食交流会やフルーツランドでの活動も引き続き実施しますので、まだ参加されたことがないという方は、ぜひ参加してみてください。子どもたちとふれあう時間はきっと楽しいものになると思います。今後とも、よろしくおねがいたします。



支部だより ~支部長を体験して~

ー紅葉が丘市営支部支部長・川崎 眞さん
私は、今までに一度も自治会活動に参加したことがありませんでした。よって、近隣の方々のお名前、お顔を全く存じ上げず、支部長・自治会長の役を受け大変不安であり、戸惑うことばかりでありました。でも、連合会の皆様、自治会の皆様に助けていただき、辛うじて役を務める事が出来た次第です。

その中で少し感じたことがあります。自治会活動の手引きの中に、「自治会は安全で安心して暮らすことのできる良好な環境づくりあるいは住民相互のコミュニケーションをより深め、地域のまちづくりを住民が主体となって進める・・・等」とあります。

自治会執行部あるいは単位自治会もこのような目的意識を持って、日々活動がなされているものと理解していますが、本当に住民の方々の賛同を得られているのか疑問に思われます。

我が支部は、当初160世帯であったものが、本年度は85世帯ほどとなっています。又、住民の半数以上が高齢者世帯であります。

このような状況において、例えば市民運動会に参加できる人数は限られ、又、支部役員への負担も多く支部内においては望まない活動形態であると認識しました。

敬老会においては参加する手段がなく、又、出席しても何ら楽しく感じる場所が無い等、反省すべき点があったかと思えます。

連合会の活動が本当に住民に沿った活動なのかと考えさせられました。

連合会執行部の方々には大変な状況での活動であると思いますが、少しでも住民に沿った行事催事をお願いしたいと思います。 □■

受付中 **2019年度優良運転者表彰**

ー岐阜中地区交通安全協会 芥見東支部
運転経験・無事故・無違反5年以上を記録し、かつ交通法規を守り、常に安全運転に心がけ、人格的にも優れ、他の模範と認められた人は所轄警察署長・地区交通安全協会長から「地区模範章」が受けられます。



2019年度の優良運転者表彰申請を5月15日まで受け付け中ですので、申請を希望される方は、下記へお問い合わせください。

岐阜中地区交通安全協会 芥見東支部
林 富佐夫 TEL243-2880 □■